

たまな 市議会だより

題字：南 文花さん（岱明中学校1年）

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック！



2010
8/1
NO.19

■「2011年3月開業と同時に新大阪～鹿児島中央を直通する新幹線さくら」

市議会だより

6月定例議会

6月定例会が6月18日から7月2日の日程で開催された。

開会の18日、25議案が上程され提案理由の説明及び8件の報告等があり、その後固定資産評価員と睦合財産区管理委員の選任の2議案については採決が行われ、全会一致で可決した。

24・25日の一般質問では13名の議員が登壇し活発に質問を展開。質問終了後、先に提案された議案及び請願・陳情が各委員会に付託され散会。

これを受けて28日は総務・産業経済の両委員会、29日には建設・文教厚生両委員会が開催され、それぞれの議案が慎重に協議されチェック。

そして本会議最終日、平成22年度一般会計補正予算や副市長と教育長の給料月額10%を減額する条例など、追加1件を含む24議案(予算11、条例10、その他3)を原案どおり可決・承認して閉会となった。

一般会計 歳入歳出 2億3,579万円を追加

歳入

国庫支出金 1億939万5千円	県支出金 949万円	繰入金 311万3千円
諸収入 1億1,159万2千円	市債 220万円	

平成22年度一般会計補正予算・歳入歳出総額 261億7,079万円

<p>民生費 1億2,518万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護基盤緊急整備特別対策事業補助金 	<p>総務費 1億7,066万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 異動等による職員給与等調整・他 	<p>議会費 ▲600万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 異動による職員給与等調整 
<p>商工費 ▲212万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 異動による職員給与等調整 	<p>農林水産費 4,709万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 湧水対策受託事業 	<p>衛生費 ▲159万9千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと環境づくり事業補助金 
<p>教育費 474万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧玉名干拓施設国指定記念シンポジウム開催経費 	<p>消防費 1,040万4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員給与手当等 	<p>土木費 ▲1億1,256万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 異動による職員給与等・他 

請願・陳情審議結果

件名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第5号 ホタルの生息地移転についての請願	建設委員会	採択 (全会一致)	採択 (全会一致)
請第6号 現行保育制度の維持と子育て支援施策の拡充について国への意見書提出を求める請願	文教厚生委員会	採択 (全員一致)	採択 (全会一致)
陳第4号 子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情	文教厚生委員会	採択 (賛成多数)	採択 (賛成多数)
陳第5号 市道幅幅整備に関する陳情	建設委員会	採択 (全会一致)	採択 (全会一致)
平成21年陳第5号 暮らしを支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続 (全会一致)	継続 (全会一致)
平成21年陳第6号 消費税増税に反対し、住民税をもとに戻し、社会保障の充実を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続 (全会一致)	継続 (全会一致)

*次の意見書(案)を可決し、関係機関に送付しました。

◎現行保育制度の維持・拡充と子育て支援施策の拡充を求める意見書

◎子ども手当の廃止を求める意見書

質問に立った議員名(会派名)は次のとおりです。
(質問順に記載)

ここが聞きたい



一般質問

ここに記載した質問と答弁は要約したものです。
前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会サイトで閲覧できます。

- 高村 四郎 (白友クラブ)
- 福嶋 讓治 (蒼風会)
- 永野 忠弘 (無会派)
- 宮田 知美 (無会派)
- 近松 恵美子 (蒼風会)
- 北本 節代 (市民クラブ)
- 吉田 きとく (白友クラブ)
- 松本 重美 (新生クラブ)
- 青木 ひさし (無会派・公明)
- 松田 憲明 (白友クラブ)
- 福田 友明 (市民クラブ)
- 前田 正治 (無会派・共産)
- 藏原 隆浩 (新生クラブ)

小田地区工業団地計画のその後について



高村 四郎

議員 上小田区の工業団地造成計画を断念か。断念でなくとも大幅におくれそうだが、2点問題がある。

(一)企業誘致を必要とするなか、もしも照会があった場合どこを幹線するのか。(二)工業団地造成を優先して進めたため、用水路復旧がおくれ、U字溝の老朽化が進み漏水が確認され、用水不足が生じ営農に支障がある現状だ。最良方法で早急な対応をお願いしたい。

企画経営部長 計画を断念はしていないが近々での開発は難しい。誘致に当たっては山砂採取跡や撤退した企業の遊休地を紹介している。

産業経済部長 地元農家としてもますます高齢化が進み、これ以上は待てないというのが心境であると推察している。よっ

て、いま一度地元農家と協議を再開し、農業情勢や経営に即した事業を見極め検討に入りたいと考えている。

公民館修繕工事について

議員 梅林校区の生見公民館(大麻記念館として玉名市へ寄贈の建物)が入札なしで随意契約で発注された経緯を伺う。随意契約とは、させたい業者へ指名して請け負わせることか、514万円の工事を指名競争入札しなかつた理由は、地方自治法や財務規則に抵触するのではないのか。金額の上限や決まりはないのか。入札は6社以上で公平性、競争性、透明性はどうか。

企画経営部長 財源としては、地域活性化やインフラ整備を支援する「きめ細かな臨時交付金」による補助事業で行なっている。地元から屋根の雨漏りなどで、利用に困るとの要望があり緊急を要した。業者選定は、建築工事B等級業者から実績がある4業者の選定を行なっている。

新幹線開業に向けて新交通体系の検討を!!



福嶋 讓治

議員 新幹線開業に向けて弱者に優しい小回りのきく、例えば天水の一部で運行中のデマンド型交通やコミュニティバスの導入は？路線バスに対する補助金の範囲内で行えるはずだ。

企画経営部長 新幹線開業に向け、新玉名駅へのアクセスを中心に、路線バスの全体的な見直しを協議している。市内外から新駅へのアクセス、わかりやすさ、関係市町の負担の3点を考慮し、9月ごろには再編計画を策定したい。路線の見直しにおいては、各路線の利用状況や費用対効果を検証し、維持困難な路線は、代替交通として成功している天水みかんタクシーのようなデマンド型交通やコミュニティバス等の導入も含め、地域の実情に合った公共交通事

業の推進を早急に検討する。また広報紙やホームページなどを活用し、路線バスの情報を届け、利用促進にも取り組む。

学校給食に

ミカン、苺を

議員 学校給食に玉名の中心農産物であるミカンや苺をデザートとして多く取り入れてほしい。ミカンは生活習慣病への効果も証明されている。

教育長 玉名の中心農産物であるミカン等を含め、地産地消は学校給食が取り組むべきものと考えている。品質・大きさが一定で数量がそろえられ、価格が高くなるものについては、ミカン等に限らず広く地元産の農産物や海産物等を使った食料を学校給食へ導入し、安心で安全な学校給食を提供したい。

学校給食が、将来を担う子どもたちの健やかな成長の一助となり、ミカンの科学的な効果も十分に考えて地産地消において地元産業振興に貢献したいと考えている。

※その他に、玉名ブランドについて質問。

一般質問

農業行政について！



永野 忠弘

議員 地産地消の推進について

以前行政の主体主導による農業の活性化と地産地消の取り組みを提案した所だ。21年度より県農林水産課主導で取り組みが始まっているが、その活動の内容、成果等を伺いたい。

産業経済部長 主な活動内容として、平成22年3月に「玉名産農産物消費拡大イベント」を開催し、小中学校に給食食材としてミニトマトの提供を行ない、玉名温泉では宿泊者の夕食食材としての利用、洋菓子店では母を使用した菓子販売をし、直売店では「地産地消スタンドパック」に詰めた農産物の販売を行なった。今後異業種間の交流会やFAXネットワークの充実を図り、新幹線開業に向けたPR販売を行なっていきたい。

議員 農家所得アップを目指して疲弊している現在の農家も所得アップで取り巻く諸課題も少しは解決できるのではないかとと思う。単純に農家所得増計画など打ち上げ1次産業の活力を引き出すような施策等は考えられないか！

議員 農家所得アップを目指して疲弊している現在の農家も所得アップで取り巻く諸課題も少しは解決できるのではないかとと思う。単純に農家所得増計画など打ち上げ1次産業の活力を引き出すような施策等は考えられないか！

産業経済部長 第1次産業である農水産業は生産のみを担当していたが、第6次産業プロジェクトを立ち上げ、生産者が主体的かつ総合的にかかれることにより、今まで第2次、第3次産業の事業者が得ていた付加価値を、生産者自身が得るようになることとで、第1次産業の活性化につなげられるような施策として6次産業の推進を考えている。

議員 玉名平野排水計画の進捗状況は

産業経済部長 昨年度に岩崎導水路を改修することができ、本年度は、裏川合流から北へ460mを取り組み、岩崎排水機場の改修も申請する。今後も状況を見ながら積極的に取り組む。

※その他、イノシシ被害対策について質問。



九州新幹線新玉名駅

▲まちづくり交付金事業による排水路整備箇所

新庁舎は人が集まる
まちの核に



宮田 知美

議員 今年の2月に文化センターで「人が集まるまち玉名」を考える会が開催され「人が歩く事ができないまちに将来はない」のテーマが掲げられた。現在の玉名市中心街は人々の

往來は少なく、夜は寂しささえ感じる。このままじり貧していくのかと心配する。出湯・アー・歴史・菅蒲などの玉名の財産を活かし、50人以上が働く新庁舎が経済と行政の核となり人々が集う活気ある玉名市を目指し建設しなければただの便利で高価な箱物で終わるのではないか。

企画経営部長 新庁舎については、規模の見直しが必要となっており、今後、設計の見直しを進めていく中で、歴史性に配慮した。また周辺環境との調和に配慮したデザインや修景を検討していくことは可能と考える。

古くからある玉名の歴史を残しながら、それを生かしたまちづくりと新庁舎の建設をその中にもどるよう位置づけていくか、関係機関と連携を深めながら進めていく必要があると考えている。

北牟田尾田線の
早期開通を

議員 天水からジャスコまで

議員

天水からジャスコまで



▲北牟田尾田線

10分で行けるこの道路は通勤通学、農産物の流通など天水町の発展には欠かせない。

産業経済部長 本路線は、玉名市が誇る基幹作物を運ぶアクセス道路として、また広域的な流通体系を確立するため、実施しており、今後も状況を見ながら、早期完成に向けて県、地元との御協力をお願いし進めていく。

※その他、高瀬裏川の回遊路整備と農業活性化チームの編成について質問した。

一般質問

40億円で大丈夫か
新庁舎!!



近松 恵美子

議員 新庁舎検討委員会で議論されている現段階での40億円での新庁舎とは？

企画経営部長 現在地での建てかえの場合、40億円以内が可能でも敷地の拡張はできない。

建てかえの手順は①南側の別館や立体駐車場を解体してあいたスペースに本庁舎を建設②引越③現庁舎を解体して跡地に立体駐車場を建設する。敷地の都合上、本庁舎は建築面積が狭くなるので6〜7階建て、立体駐車場は4階建て程度になると見込まれる。

議員 市民会館付近の駐車場不足についても検討委員会で議論されているか。

企画経営部長 市民会館周辺一帯が、慢性的に駐車場不足である状況は認識している。

議員 今後のタイムスケジュールは？

企画経営部長 12月議会までに市の方向性を出したいので、事前に議会や地域協議会の意見を聴く機会を設けたい。

学校現場の問題は！

議員 着任して感じた学校現場の教育上の問題及び教育長の抱負をお伺いする。

教育長 学校現場の教育上の問題として、学力向上、いじめ・不登校問題、少年非行、教職員のメンタルヘルス、県立中学校との共存共栄等の問題を感じている。政治、経済、国際協力等、すべての分野で活躍する有能な人材を育てる教育を行いたい。そのためには、基本的な生活習慣の育成と豊かな心の醸成のものと、知識や技能、豊かな教育、研究能力の開発等が大切であると思っている。よりよい教育環境をつくっていききたい。

※その他、子宮頸がん予防ワクチンについて質問。



▲ダンボール堆肥の勉強中 玉名町小学校

高い国民保険税！
「払えない」と市民の声



北本 節代

議員 今四月、国民健康保険税がさらに値上げになる。保険があっても病院にかかれない市民もいる。①21年度の国民税の滞納額は？②その原因は？③払えない市民、特に子どもたち

への対応は？④今後の取り組みは考えているのか。

市民生活部長 ①21年度滞納額は、7.2億円。②滞納増加の原因は、所得の減少で加入者の負担力が低下したこと。③資格証世帯は21年度374世帯。④国保財政健全化のため徴収に努める。高校生世代までは6ヶ月短期証を交付する。収入を確保し健全な運営に努める。

子宮頸がんの
ワクチン接種を

議員 がんの中で唯一ワクチン接種でウイルスによつては100%の予防ができる助成を！

健康福祉部長 子宮頸がんワクチンは任意接種で、その安全性・効果等に検証が必要であるという意見もあり、国や県内の動向を見て検討する。

特例債を使えば26億円の
負担で新庁舎を

議員 60億円の予算でも26億円でよいと言うのは本当なのか。新庁舎跡地の有効な活用は

あるのか、市民会館の建て直しは考えているのか？

企画経営部長 約60億円の総事業費で試算すると、国から交付税として約34億円が上乘せられるので、市の負担は差し引き約26億円となる。

市長 仮に市役所が移転したとしても、中心市街地としての街並みを維持できるように、市役所跡地の活用について十分に検討を深める。市民会館は、耐力調査などを踏まえ、建て直しや大規模な修繕の必要があれば、財政負担を考えると、合併特例債の期限までに整備するのが望ましい。



▲階段昇降機もない庁舎内階段

新副市長の行政経歴、
新教育長の教育理念



吉田 きとく

議員 新副市長の抱負と感想は

副市長 高市市長の強いリーダーシップのもと、職員と一丸となつて、市民との対話・協働をキーワードに、諸改革・施策に積極的に取り組む、結果を残していきたいと考えている。

信頼すべき市長のもとで、大勢の職員の皆さんと一緒に仕事ができることを大変光栄に、そして誇らしく思っている。

微力だが、市長を支え職員の皆様と意志の疎通を図りながら、職員と一緒に悩み、汗をかき、仕事を進めていきたいと思う。

議員 教育に関して

① 森教育長の教育理念、小中学校児童・生徒への思いは

② 新学習指導要領の対応(取り組み)と小学校英語教育について
③ 教育立市玉名(宣言)について

教育長 政治も経済も国際理解等すべての分野で、有能な人材を育てる教育を行わなければならないという基本理念をもっている。基本的な生活習慣と豊かな心の醸成の上に立って、

知識や教養、研究等の能力開発を行ない、我がまち玉名から各分野に有能な人材を輩出できる教育環境をつくりたいと考えている。

新学習指導要領における授業時数の増加について、2学期制の実施や長期休業期間の短縮及び時間割の見直し等を行っている。一方、小学校外国語活動については、研修を行なったり、ALT等を活用したりして、円滑に実施できるようにしている。今年3月「玉名市教育振興基本計画」が策定されたばかり。八戸市では教育立市と教振基本計画を同一視している。どういった形で市民に呼びかけるべきか考えたい。



▲ 議会で答弁される教育委員会席

第6次産業の定義とは



松本 重美

議員 この20年間、日本の国民

総生産は横ばい状態で各種国際経済ランキングは低落、不景気感が強い。市は第6次産業を育成して玉名経済を活性化するとするが、第6次産業の定

義、具体策とは何か。

市長 農水産業振興の施策であり、後継者育成に努め生産加工、流通、販売までの一貫した産業の育成に力を注ぎたい。第6

次産業プロジェクト会議を開催し高付加価値農水産物のブランド化と販売ルートの確立による販売促進を目指す。一例として、加工用の梅をジュース、梅酒として原料確保に向け、農家へアプローチし、柑橘振興協議会等に説明会を開催。畑地等の耕作放棄地の解消とあわせて生産拡大に関係機関と連携を図り取り組んでいく。

肥後伊倉駅の
トイレ水洗化を望む

議員 4月より伊倉駅は地元への委託駅となった。女性3名で

管理運営に当たっているが、鉄道文化遺産的木造駅舎を大事に、花木類できれいに飾りたいと思案中だ。

しかし、前時代的なくみ取り式トイレでは大いに問題がある。時代に合った水洗化で好印象の駅にすべきだ。

企画経営部長 JR九州からの業務受託の際、水洗化のお願いをしたが、改修は公共下水道が利用できることが前提のため難しいとのこと。しかし、合併処理浄化槽や簡易水洗への改修も含め、引き続き水洗化の要望を行なっていく。また、気持ちよく利用していただける駅のトイレとして、衛生的に保つよう努めたい。

※その他、小中学校における土曜授業の復活について質問した。



▲ 木造駅舎と前時代的なトイレ

教育問題について



青木 ひさし

議員 ① 中学への進学で中学1年時にいじめ、不登校など環境の変化で起こる「中一ギャップ」対策は？

② 小中一貫教育が注目されているが、その見解は？

③ 子どもたちの体力向上は？

からばかりでなく、「いじめ」「不登校」の解消という視点等も含めて総合的に義務教育の機関のあり方について検討していかなければならぬ時期に差しかかっていると考えている。

③ 体育の授業において、「めあて学習」に継続して取り組んできた。また、全国体育調査で明らかになった「体力のウイークポイント」の補強運動を授業の導入段階に取り込んだり、「歓声のあがる授業」や「十分な運動量を確保した授業」を志向している。業間体育も推進している。

教育長 ① 小学校1年生から中学校3年生まで、それぞれの発達段階に合わせて「人間関係づくり」のための教育活動を推進してきた。今後も継続するとともに、家族との連携を強化することで課題解決に努めていく。
② 小中一貫教育は、教育課程編成において学校の特色を出せるばかりでなく、「中一ギャップ」解消という副次的な成果があらわれたという報告もある。今後は、児童生徒の減少という視点を

住宅太陽光発電システムの普及

議員 本年度分の助成は終了したが、再度補正で継続し、高いニーズに対応を！

市民生活部長 市民の皆様のため太陽光発電システムに対する関心は高く、補助金の再開をお願いする根強い声があり、9月議会で補正予算要求を行ない、追加補助を考えている。



未来見据えた庁舎建設急げ



松田 憲明

議員 築50年、耐震化も不十分でバリアフリーも駐車場も事欠く。県北の都たまなの庁舎建設を早急に取り組むことが、市民目線の市政と思うが、市長 新庁舎建設問題について

は、検討委員会の結果等を参考に、議会の意見も拝聴しながらしかるべき時期に自分自身が判断する。また、適正な事業規模かどうかを再検討することは、決して後ろ向きなことではない。本市の体力が衰退しないように努力することは、市政を担う者に課せられた使命の一つである。

今後、判断した結果によっては、難航する部分があるかもしれないが、首長としての英断の必要が生じたときは自分自身の判断で臨みたい。

時間的余裕は少ないが、スケジュールに余裕を持たずに事柄に臨むことは危険なので、可能なものについては、少しでも前倒しで着手できないか、議会にも協力を願いたい。

農業委員会事務局の各支所常駐が必要

議員 7月から週2回本庁から出張と聞くが、農家は高齢化している。国の農政も流動的、農家も不況により土地の移動も多く発生している。本庁も支

所も混乱しないためにも事務局の常駐を求める。

総務部長 4月1日の機構改革で、農業委員会事務局は各総合支所の出張所を廃止して職員9名により本庁一括での業務を行っている。6月までは週4日、本庁から職員1名を各総合支所に派遣させ、相談や申請受け付けの業務をしていたが、本庁での事務量も増大しているため7月からは月3日の派遣となる。ただし、極端な住民サービス低下となれば、必要に応じて今までどおりの週4日派遣を農業委員会会長に申し入れたい。



▲ 新庁舎建設で問題になっている現庁舎

口蹄疫
市の危機意識と対応は



福田 友明

議員 宮崎県都農町で口蹄疫

が発生して早や2ヶ月が経過した。県内に口蹄疫は出ていないと言っているものの、セリ市場は閉鎖され、また消費が伸び悩み状態であるにもかかわらず、飼料代、消毒代など経費が増大して大変な状況にある。

口蹄疫に対する『監視状況と危機意識の認識』、また対応はどうなっているのか。

産業経済部長 玉名地区内の畜産農家の飼育状況を把握し、宮崎県内での口蹄疫の発生状況等の情報を関係各課に伝達するため、情報の収集に努めている。畜産農家への情報提供や連絡等については、拡大を防止するため、農場への立ち入りを避けるなど、細心の注意を払っている。

また、しようぶまつり会場での足踏み消毒マットの設置や畜産農家への消毒用消石灰の配布を実施し、今後、庁舎等での消毒マットの設置を検討している。

太陽光発電補助金の
申請枠の緩和

議員 住宅用太陽光発電シ

テム補助金は、好評により予算限度額に達したため2ヶ月で受け付けが終了した。補助対象者の戸数は、また今後の修正予算の考えと年度内に工事が完了したものであっても申請の受け付けはできないか。

市民生活部長 6月1日をもって

予算限度に達し、105件の補助を行なった。今後は9月議会において修正予算を要望し、追加補助を行なう考えである。なお、21年度補助金開始以前の設置者に対する配慮や、補助金開始を待っておられる市民の方も多くおられることから、事前着工者に対する補助の適及措置は考えていない。



市役所に設置された口蹄疫発生予防消毒マット

住宅リフォーム
助成の実施に向けて



前田 正治

議員 住宅リフォーム助成は波及効果も大である。実施に向けての取り組み状況は。

企画経営部長 定住人口をふやすためには、豊かな自然環境や良質の行政サービスなど市の

総合的な魅力を高め、住んでみたい、住んでよかったと思えるまちにすることが重要なことだが、実際に生活の本拠を移すには大きなエネルギーが必要である。そこで移住に向けて背中をひと押しする制度を入れることも大切ではないかと思う。住宅リフォーム助成制度は、地域活性化に効果を及ぼすような工夫をするなど、導人に向けて引き続き研究を行なっていく。

議員 自治振興公社における裁判について、和解する考えはないか。

市長 自治振興公社臨時職員雇止め裁判については、平成22年2月に第1審の判決があったが、賠償金の額に不服があり、現在、福岡高裁に控訴請求をしている。高裁での判決を経て、敗訴が確定した場合の賠償金の支払いについては、市が直接負担するものではなく、自治振興公社で対応していただくものと考える。裁判の長期化や今後の裁判の行方によっては、原告側との話し合いも選択肢の1つであ

り、和解も否定するものではない。

議員 ヒブワクチン接種への助成について見解を。

福祉部長 ヒブワクチンとは乳幼児に発症する細菌性髄膜炎を予防するワクチンで、WHOも接種を推奨しているが我が国ではまだ任意接種である。ヒブ髄膜炎は玉名市で年間1人が発症するか否かの低い罹患率であり、乳幼児期に4回、約3万3千円の費用が必要。今後、県内市町村の動向を考慮し検討していく。



乳幼児健診の様子

一般質問

市民会館の安全性と
その将来を問う



蔵原 隆浩

議員 市民会館ホールも築43年を経過。老朽化に伴い安全性に懸念を抱くが、これまでに耐震診断は実施されているのか。また周辺エリアの浸水の可能性を示唆しながら、なぜ玉名校区の避難所として指定することができたのか。

企画経営部長 耐震診断は行なっており、老朽化が進んでいる。耐震診断は、改修または建てかえ等も考慮して検討したい。避難所指定については、避難経路の寸断によって最寄りの避難所への避難が困難であるとき、より危険性が低い市民会館への避難が必要と考えられるため指示したものの。
議員 本市の財政状況や新玉名駅南側3.2haの整備等、喫緊の課題を抱える中で、今後も老朽化が進む市民会館の建設につ

いては考えや計画はあるのか。企画経営部長 市民会館の建設予定については、耐力度調査等を踏まえ、早期に結論を出し、建てかえの場合は財政負担の少ない合併特例債を活用して建設を検討したい。

入札制度の改善に
疑問あり!

議員 落札率を下げることを目的とした今の入札制度に疑問を感じる。市内、地場企業の育成の視点から制度の改善に取り組むべきではないのか。

市長 公共工事は貴重な税金で賄われており、可能な限り低価格の契約が望まれるが、適正な価格で良質な工事の発注が責務と考える。また、市内業者で施行可能なものは市内業者へ発注を心がけている。

議員 指名審査会が現在行なわれていないのはなぜか。透明性、公平性の確保に疑問。

市長 審査会は開催されていないが、円滑に指名が行なわれているので、当面この方向で進めていきたい。



▲ 築43年が経過し、老朽化が進む玉名市民会館

議会基本条例について
勉強中

今、全国各地でより住みよいまちづくりを実現するために議会基本条例の制定に向けて地方議会が勉強をしています。議会基本条例とは議会や議員活動などを活性化し、市民の暮らし向上の約束を果たすために議会や議員の行動に基本的な事項を定め条例化していくことです。県内では御船町が唯一条例を制定し活発に活動しています。玉名市議会においても自主勉強会を始めました。

クラリンド訪問記

今回の訪問は総勢13名で、そのうち議会からは副議長と私の2名が参加した。日本を離れ約11時間でシカゴに着き、その後飛行機と車を乗り継ぎ約4時間の所にグリーンミラーの生誕地クラリンドはあり、広大な土地に約6千人の人口、町の中心部は碁盤の目のように整理されていた。まず市役所を表敬訪問して驚いた。日本の個人の家ほどの平家づくりの中に職員は10名もいない様子で議員も5名と聞いた。消防署も常備消防ではなく消防団のようなボランティア的な組織であった。今回の訪問で現地の議員との意見交換ができたことが私にとって最大の収穫だった。

横手良弘



左から青木、田畑、杉村、小屋野、竹下の各議員



▲ グリーンミラー記念館落成式テープカットの様子

副市長、教育長給与10%削減賛成多数可決

付託された案件は議案9件、継続決。副市長、教育長の給与に関する分の陳情2件。平成21年度一般会計 条例では10%削減の趣旨が明確で補正予算は歳入歳出それぞれ5千 ないと質疑、採決の結果賛成多数で万円を追加し、総額を28億2千85万 可決。陳情2件は引き続き継続審査4千円とした。歳入の補正は国の2 とした。委員から区長会の研修費の次補正予算の地方交付金の追加と 二年に一度が半額で毎年になった事各種交付金の確定によるもの。玉名 に対し、区長の大変な仕事も考慮市の条例の一部を改正する条例の し、二年後に研修費の見直しも検討制定ほか条例5件、及び平成22年度 してほしいなど意見が出さ一般会計補正予算を全員一致で可 れた。

常任委員会

文教厚生 総務

建設 産業経済

中心市街地活性化事業繰越等2件を承認・可決

付託された案件は議案2件。議第 付託された案件は議案9件、 22年度一般会計予算中付託分について 42号専決処分事項の承認について。専 決第6号平成21年度一般会計補正予 算中繰越明許費補正は商工費の中心 市街地活性化事業で100万円の補正。こ の事業はマルシヨク跡地の一部を中心 市街地の活性化に繋げるために市が 平成21年度に土地を購入しその跡地 整備の方向性を示す基本計画・基 本設計の業務を委託。この基本設 計の工期の延長が必要となり繰 越したもので承認。議第46号平成 22年度一般会計予算中付託分について 歳出の部で農林水産事業費は4千709 万5千円の増。歳出の主なものは4月 の定期人事異動による人件費の調整 と共済費の負担率の変動による事業 者負担増、また、機構改革に伴い農林 水産課と耕地課の統合により職員数 の減等。審査を十分検討し終了。採決 の結果、全員異議なく可決すべきもの とした。

ふるさと寄附金活用事業などの 補正予算について審査

付託された案件は議案10件と 税条例一部改正の専決 請願陳情各1件。今年度一般会 計補正予算の主な内容は、職員 定期異動等に伴う職員給与の調 整。その他、ふるさと寄附金を活 用した「元気で長寿のまちづく り事業」においては介護予防事 業備品購入や介護施設での音楽 会開催委託料など195万6千円の 計上。その他4特別会計及び条 例の一部改正案件2件、規約一部 改正も原案可決。また、国の2次 補正予算追加配分に伴う小学校 の修繕及び税法改正に伴う国保

処分2件についても承認 すべきものと決した。請第6号は 「保育は国や地方自治体の責任 において、質の向上に努めるべ き。」との意見があり、願意を認 め全員一致で採択。陳第4号は 「子ども手当は政策目的も不明 瞭、所得制限もなく国籍要件も ないため国の財政を圧迫し、願 意は妥当。」また、「子育て支援策 として期待も大きい。」などの意 見があり、採決の結果賛成多数 で採択すべきとした。

多発する次年度繰越事業 への対応を指摘

付託された案件は議案9件、 補正予算は定期異動等に伴う職 員給与等の調整によるもの。ほ 請願1件、陳情1件。専決処分の 21年度一般会計補正予算は繰越 明許費補正で道路橋りょう費4 千万円と都市公園費で60万7千 円の次年度繰り越し。委員より 繰り越し発生理由を質疑。20 年度の国の2次補正及び21年度 の国の1次補正が出たことでし わ寄せが来たためと答弁。人員 を確保し、事業のおくれがない ようにと指摘。22年度一般会 計・特別会計・企業会計いずれも 採択した。

補正予算は定期異動等に伴う職 員給与等の調整によるもの。ほ か、市道路線の認定案件及び追 加議案も含め、全議案とも全員 一致で可決。玉名市築地と岱明 町開田の境界にあるホテルの生 息地をバイパス工事から保護を 求める請願、及び天水北横内区・ 立花区における災害時や緊急医 療・防災に対応するための道路 拡幅整備を求める陳情、いずれ も願意妥当と認め、全員一致で 採択した。

研修報告

文教厚生

「生命尊重行政」と「教育行政の今後の課題」について研修

5月17日から今年度の行政視察を行ない、以下3項目について研修した。

- ①「高齢者・乳幼児医療費無料化」(岩手県西和賀町)
- ②「新学習指導要領の先行実施」
- ③「栗原の財人づくり共育事業」(宮城県栗原市)

①については、旧沢内村の村

5月17日から19日にかけて、

熊本県熊本市・宮崎県都城市・鹿児島県霧島市・鹿児島県指宿市の行政視察を行なった。

熊本市では近年、地下水汚染で問題視される硝酸態窒素対策について視察。熊本市は日本一の

地下水量を有しており、その水質保全のため随分前から対策に

総務

甲府市・福生市視察



▲福生市ワンストップ総合窓口

5月18日から2泊3日で、甲府市・福生市を研修。研修内容は甲府市では事業仕分けを、福生市は事業評価と新庁舎建設について研修をする。終了後福生市役所内を見学。2棟建ての庁舎の一階部分はワンストップ総合窓口が導入され、数種類の証明を取りに來られた市民も一カ

長深沢晟雄氏が提唱した施策。村長就任以来「生命尊重」を市政の基本に掲げ、全村民の健康状態把握から医師、看護師の確保まで医療福祉の向上に尽力。昭和35年、老人と乳児の医療費無料化を実現。昭和37年国内初の乳児死亡率ゼロを達成。研修後に「資料館」を見学し、生命尊

取り組んでいる。

都城市では住宅リフォーム促進事業を視察。住宅増改築工事を市内業者に発注する場合に経費の一部を補助し、市内産業活性化と安定化促進を図るもの。

霧島市・指宿市では循環型の環境行政に視点を置き生活排水に関連してそれぞれの下水道

所の窓口で済ませられるようになっていた。又将来の変化に対応できるように壁や柱を少なく家具のレアウトで多様な空間を実現し床も全面O Aフロアになっているなどさまざまな工夫がなされており今後の新庁舎建設の参考におおいになった。

重行政に思いを馳せた。

②、③については、来年度から実施される指導要領を先行実施された事例及び人づくり共育事業の経緯や成果等について、担当職員から説明を受け、今後の教育課題について意見交換を行なった。

事業を視察。両自治体とも水質保全対策を主要施策とし、市民とともに水質浄化のサポート活動を積極的に取り組む。排水からのリン・チッソ除去法や、環境浄化微生物の活性液の作成法を御教授いただいた。

どうなる！建設予定地

新庁舎建設特別委員会

6月1日に委員会を開催し、4月・5月に開催された新庁舎建設検討委員会での検討内容について報告を受ける。委員から、市民会館付近の浸水被害が問題になっているが、安全ではなかったのかとの質疑に、ハザードマップは100年に1回といわれる1日に70数ミリ、2日間で40数十ミリの降雨量があった場合の最悪の状態を想定し、菊池川等の堤防が決壊した場合の浸水状況である。今後この資料を基に、国・県に堤防の補強工事をお願いしていく旨の答弁。また、建設位置を現在地立替案と市民会館付近の2案を念頭に置き進めることに對して、20億円削減を旨処に建設を考えるなら、現地立替案になるのではと危惧する意見や検討委員会のメンバーの人選についても質疑があり、今後慎重に審査する必要があるため継続審査としました。

新玉名駅周辺の開発構想やいかに

新幹線新玉名駅周辺整備・玉名バイパス建設促進特別委員会

6月3日に委員会を開催し、現時点までの状況等について説明があった。玉名バイパスについては、7月に残りの舗装工事、安全施設工事を発注され開業に合わせたバイパス開通を日指し順調に推移。また、新駅周辺整備については、アクセス道路の整備、駅前広場の整備とも順調に進んでいるとの報告あり。懸案の開発構想については、各種検討委員会等から報告書は提出されているものの方向性がまだ打出せていない。今後早期に方針を固め、事業を進めたいとの報告。委員から、新幹線開業は地域活性化の起爆剤と考え、真剣に取り組む、早期の具体策を提案いただいた旨の意見があった。また新幹線開業に伴う環境被害についても報告があった。

「農業の振興と郷土の繁栄」



横島町横島 大村 仁

私どもの郷土は中ず迄もなく比較的恵まれた地域にあり、また進んだ技術の農家経営をしておられます。座して停滞しますと他の産地に優位性は変動してしま



市民の声



ます。私の持論ですが、玉名市と農協それに農家の人々が一体になり農業研究所の創設ができたと思う。

一、大学または県試験場の応援を要請する。

二、市場の調査、農産物の流通について精査する。

三、現在の消費者の嗜好について調べる。何が未来に永続性があ

り価値観があるか等地域の特性を生かし消費者のニーズにあった特産品を生産することができれば地元農業、玉名市発展に寄与できると思う。

議会に期待する

う。

議会が私たち市民にとってもっと身近なものになるよう、気軽に参加出来るような企画や募集、PRをしてはどうだろうか？

議会と市民との距離が縮まれば、多くの人が議会を理解し、市民の意識の向上にもつながっていくと思う。

例えば、子どもでも分かる議会だより。市民が関心を持てる議会づくりを望む。

「子育て支援の充実を期待!!」



玉名市松木 田中由希絵

生後4カ月になる息子と外出する機会が増えました。気軽に声をかけてくれる人、ちょっとした手を貸してくれる人、そんな優しい玉名の方々に家族のような温か

議会とついでにまちづくり

「議会とついでにまちづくり」



天水町玉水 富田 公生

折りしも参議院選挙の真っ最中。今回はいろんな党が乱立して、政策を訴えている。サッカーのワールドカップや相撲協会の不祥

さを感じます。県外出身の私、頼れる身内が近くにいない中での子育ては不安も大きいです。子どもは親の力だけで育つものではなく地域の力、時には行政の制度などに支えていただくことで育つていくのではないかと思います。子どもや親が生き生きと笑顔で暮らせるための子育て支援が本物のふるさとのように安心して子どもを育てている街であり

ますように。そして子どもが大きくなつた時、この玉名で育つたことに幸せと感謝の気持ちを感じてくれますように。

事が連日マスコミをにぎわし、選挙の関心が薄らいでいるようだ。先日、市議会の傍聴に伺うと多くの人が来ておられた。地方分権で地方議会の果たすべき役割は一層大きくなっている。

地域間の格差が広がる中、どんな政策を作り、どうやって自治体を運営していくのか議会力が試されている。その議会力を高めるために大切なのは、私たち市民が議会の活動に関心を持つこと、持ち続けることだと思ふ。

9月定例議会予定

8月27日	火曜	議会運営委員会
9月3日	金曜	定例議会開会
		提案理由の説明
6日	月曜	一般質問発言通告締切
9日	木曜	一般質問
10日	金曜	一般質問
		議案の委員会付託
13日	月曜	文教厚生委員会
		建設委員会
14日	火曜	総務委員会
		産業経済委員会
17日	金曜	採決
		定例議会閉会

※都合により変更になることがあります。

編集後記

議会報の発行後、早五年近くになります。議会報の編集に当りましては、市民の皆様に見やすく、読みやすく、分りやすくをモットーに、字句、一語まで、気配りをして編集に努めております。過去に議会報について、何件かの御意見を載せました事を参考にし、よりよい議会報の編集に当っております。市民の皆様御意見をくみ上げ、よりよい議会報の編集に努めてまいります。御意見をお寄せ下さい。

議会報編集特別委員

田畑 久吉